



ヒロシマ・ナガサキ、沖縄から

男鹿和雄展 in MieMu

(三重県総合博物館)

男鹿和雄(1952年秋田県生まれ)は、アニメーション作品の舞台となる背景画を数多く描き続けてきました。

スタジオジブリ『となりのトトロ』では美術監督として、昭和30年代の澄んだ日本の風景を鮮やかに描き、作品に深い印象を与えました。

また、女優・吉永小百合による原爆詩朗読会「第二楽章」シリーズのために挿画を手がけるなど、平和への願いを込めた幅広い活動も続けています。

本展では、これまで一般公開の機会が少なかった、ヒロシマ・ナガサキ・沖縄をテーマにした絵画を紹介します。

男鹿和雄が描く、命の尊さと平和への祈りを、ぜひご覧ください。



©Oga Kazuo

2025年7月19日(土)
— 8月 3日(日)

会 場 | 三重県総合博物館(MieMu)
2階 交流展示室

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060

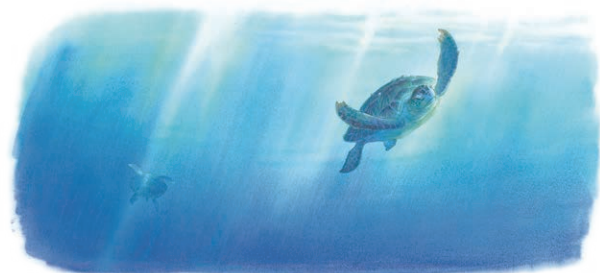
開館時間 | 9時~17時 毎週月曜日は休館日(祝日の場合はその翌日)

観 覧 料 | **無料** ※期間中にMieMuで開催される企画展示・基本展示は別料金

主 催 | 三重県生活協同組合連合会

協 力 | 三重県総合博物館、公益財団法人第五福竜丸平和協会

後 援 | 三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会



お問い合わせ先

三重県生活協同組合連合会

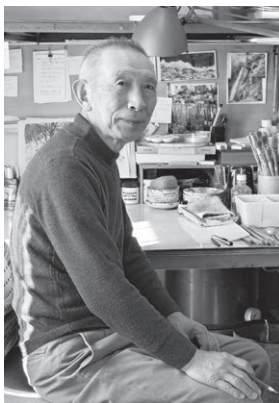
TEL.059-228-9913/FAX.059-228-9915 メール toiwase@miekenren.jp



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

男鹿和雄 プロフィール



男鹿和雄（おがかずお） アニメーション美術・挿絵
秋田県立角館高校卒業。東京のデザイン専門学校に入るも中途退学し、新聞の広告を見て、アニメーションの背景会社 小林プロダクションに入社。代表で美術監督の小林七郎の下、「家なき子」「宝島」「ガンバの冒険」等で背景の表現を鍛えられる。その後フリーとなり、マッドハウスで、アニメーション映画「幻魔大戦」「カミイの剣」などに参加。美術監督としては「白だしのゲン」「時の旅人」「妖獣都市」を手がけた。1987年、宮崎駿監督に声をかけられて美術を担当した「となりのトトロ」を始め、スタジオジブリで 高畑勲監督の「おそいでほろほろ」「平成狸合戦ぽんぽこ」「かぐや姫の物語」などの美術監督を務める。現在は若手が担当する作品のお手伝いをしながら、自宅のアトリエを拠点に活動を続けている。

ヒロシマ・ナガサキ、沖縄から 男鹿和雄展 in MieMu 特別企画

参加費無料 事前予約不要 どなたでも当日ご参加いただけます。

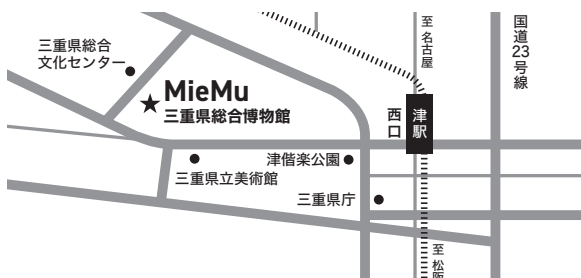
7/19(土) 13:00~13:30 被ばくの証言 講師：三重県原爆被災者の会 会長 山口 詔利氏 会場：交流展示室（2階）	8/2(土) 随時開催 “絵”を眺めながら、一緒に“物語”を聴こうよ ～絵本の“絵”の読み聞かせ～ 会場：交流展示室（2階）
7/20(日) 14:00~15:00 講演「ヒロシマ・ナガサキから80年」 講師：公益財団法人第五福竜丸平和協会 専務理事 安田 和也氏 会場：レクチャールーム（3階）	8/3(日) 13:00~13:30 被ばくの証言 講師：三重県原爆被災者の会 事務局長 坂牧 幸子氏 会場：交流展示室（2階）
7/21(月・祝) 随時開催 “絵”を眺めながら、一緒に“物語”を聴こうよ ～絵本の“絵”の読み聞かせ～ 会場：交流展示室（2階）	その他の企画 8/2(土)・3(日) 随時開催 オンライン灯ろう流し 会場：交流展示室（2階）
7/26(土) 随時開催 “絵”を眺めながら、一緒に“物語”を聴こうよ ～絵本の“絵”の読み聞かせ～ 会場：交流展示室（2階）	
7/27(日) 13:00~13:30 被ばくの証言 講師：三重県原爆被災者の会 会長 山口 詔利氏 会場：交流展示室（2階）	



絵本の“絵”の読み聞かせとは・・・

男鹿氏が描いた美しい絵を挿絵として出版された絵本や書籍から、本文の一部を絵画の前で“読み聞かせ”して会場をゆっくりまわります。男鹿氏の“絵”を眺めながら、絵が描かれた“物語”をお聴きください。

※一部の絵画でピエゾグラフを使用しています。



[アクセス]

- 電車** 津駅（近鉄、JR、伊勢鉄道）西口下車 徒歩 約 25 分
- バス** 津駅西口より 89 系統、約 5 分 「総合文化センター前」下車すぐ
- お車** 伊勢自動車道「芸濃 IC」から約 20 分 「津 IC」から約 10 分

